

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PGE2 high sensitivity ELISA kit
製品番号 : ADI-930-001 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : Prostaglandin E2 Standard
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2B

発がん性: 区分 1A

生殖毒性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(肝臓)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(中枢神経系)

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を密閉しておくこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋及び保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

-20℃で保存すること。

廃棄

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択:混合物

別名:エチルアルコール

成分名	含有量(%)	CAS RN [®]	官報公示整理番号
エタノール	50	64-17-5	2-202

上記以外の成分:50,000pg/ml PGE2

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 エタノール

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、毒性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

- 関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

- 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 区域より退避させる。
- 適切な保護具を着用する。
- 密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

- 下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

- 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

- 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 20℃で保存すること。

安全な容器包装材料

- 直射日光、高温、火気を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(エタノール)

ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

- 洗眼設備・安全シャワーを設ける。

保護具

呼吸用保護具

- 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡または顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

臭い：データなし

pH：データなし

初留点/沸点：データなし

沸騰範囲：データなし

融点/凝固点：データなし

分解温度：データなし

引火点：24°C

自然発火温度：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重/密度：データなし

水に対する溶解度：混和する

n-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

避けるべき条件

日光、高温、火気、静電気

混触危険物質

強酸、強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)

感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

cat.1A; (ACGIH 7th, 2012; IARC, 2010)

(エタノール)

IARC-Gr.1：ヒトに対して発がん性がある

(エタノール)

ACGIH-A3(2008)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性

[日本公表根拠データ]
(エタノール)
cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012
催奇形性：データなし
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(エタノール)
気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(エタノール)
麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(エタノール)
肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)
[区分2]
[日本公表根拠データ]
(エタノール)
中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)
吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
水生毒性(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(エタノール)
藻類(クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)
水生毒性(長期間) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(エタノール)
甲殻類(ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)
水溶解度
(エタノール)
混和する (ICSC, 2000)
残留性・分解性
(エタノール)
急速分解性あり (BODによる分解度:89% (既存点検, 1993))
生体蓄積性
(エタノール)
log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)
土壌中の移動性：データなし
オゾン層破壊物質：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号：1170

品名：エタノール又はエタノール溶液

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：3

容器等級：III

指針番号：127

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Z類) エタノール

注意事項：輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物 エタノール(別表第9の61)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 エタノール(別表第9の61)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物(0℃ ≤ 引火点 < 30℃)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

船舶安全法：引火性液体類 分類3

航空法：引火性液体 分類3

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2018 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PGE2 high sensitivity ELISA kit
製品番号 : ADI-930-001 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : pNpp Substrate
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1
発がん性: 区分 2
生殖毒性: 区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(肝臓)
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(腎臓、呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(気道)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(血液、腎臓、肝臓)

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

皮膚刺激
重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
肝臓の障害
腎臓、呼吸器系の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による気道の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による血液、腎臓、肝臓の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
環境への放出を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：混合物

別名：2, 2'-イミノジエタノール

成分名	含有量(%)	CAS RN [®]	官報公示整理番号
ジエタノールアミン	12	111-42-2	2-302;2-354

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 ジエタノールアミン

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を多量の流水/シャワーと石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。多量の水を飲ませる。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

注意事項

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

強酸、強酸化性物質との接触を避ける。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

4℃で保存すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(ジエタノールアミン)

ACGIH(2008) TWA: 1mg/m³(IFV) (肝臓および腎臓障害)

注釈(症状、摂取経路など)

(ジエタノールアミン)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体
色：データなし
臭い：データなし
pH：データなし
初留点/沸点：データなし
沸騰範囲：データなし
融点/凝固点：データなし
分解温度：データなし
引火点：データなし
自然発火温度：データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重/密度：データなし
水に対する溶解度：データなし
n-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
避けるべき条件
日光、熱
混触危険物質
強酸、強酸化性物質
危険有害な分解生成物
炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
rat LD50=2300 mg/kg (SIDS, 2008)
局所効果
皮膚腐食性・刺激性
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, 2008)
眼に対する重篤な損傷・刺激性
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
ラビット 強い刺激性 (SIDS, 2008)
感作性：データなし
生殖細胞変異原性：データなし
発がん性
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2011)
(ジエタノールアミン)

IARC-Gr.2B：ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(ジエタノールアミン)
ACGIH-A3(2008)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(ジエタノールアミン)
日本産衛学会-2B：人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

生殖毒性
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
cat. 2; NTP TER 96001, 1999

催奇形性：データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
肝臓 (SIDS, 2008)
[区分2]
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
腎臓、呼吸器系 (SIDS, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
気道 (SIDS, 2008)
[区分2]
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
血液、腎臓、肝臓 (SIDS, 2008)

吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
水生生物に有害
水生毒性(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン)
甲殻類(ミジンコ) LC50=2.15mg/L/48hr (AQUIRE, 2012)

水溶解度
(ジエタノールアミン)
非常によく溶ける (ICSC, 2002)

残留性・分解性
(ジエタノールアミン)
TOCによる分解度: 96.7% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性
(ジエタノールアミン)
log Pow=-1.43 (PHYSPROP Database, 2005)

土壌中の移動性：データなし

オゾン層破壊物質：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Y類) ジエタノールアミン

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物 ジエタノールアミン(別表第9の219)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 ジエタノールアミン(別表第9の219)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：優先評価化学物質 ジエタノールアミン(政令番号91 人健康影響/生態影響)

船舶安全法：非該当

航空法：非該当

16. その他の情報**参考文献**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2018 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PGE2 high sensitivity ELISA kit
製品番号 : ADI-930-001 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : ①PGE2 HS-EIA Conjugate
②PGE2 HS-EIA Antibody
③Assay Buffer
④Stop Solution
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

注意書き

安全対策

適切な保護具を着用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

廃棄

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

(①~④について)

混合物/単一化学物質の選択 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN [®]	官報公示整理番号
アジ化ナトリウム	0.09	26628-22-8	1-482

上記以外の成分 : 0.0016% 硫酸亜鉛(①、②) 0.03% 硫酸亜鉛七水和物(③)
10% リン酸三ナトリウム・12水(④) (いずれも法規制には該当しない)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- 口をすすぐこと。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

- 周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

特になし

消火を行う者の保護

- 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項

- 皮膚に触れないようにする。

安全取扱注意事項

- 適切な保護具を着用すること。
- 取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

保管

安全な保管条件

- 20℃で保存すること。(①)
- 4℃で保存すること。(②～④)

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として) 0.11 ppm (心臓損傷; 肺障害)

ばく露防止

保護具

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 保護眼鏡または顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

衛生対策

- 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体
色：データなし
臭い：データなし
pH：データなし
初留点/沸点：データなし
沸騰範囲：データなし
融点/凝固点：データなし
分解温度：データなし
引火点：データなし
自然発火温度：データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重/密度：データなし
水に対する溶解度：データなし
n-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

避けるべき条件

直射日光、高温

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

通常の手扱いおよび使用条件では有害な生成物は発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

労働基準法：疾病化学物質

アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

皮膚腐食性 区分1

感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性

(アジ化ナトリウム)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性: データなし
生殖毒性: データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露): データなし
吸引性呼吸器有害性: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
水生毒性(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)
残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
直接測定(HPLC)による分解度:1% (既存点検)
生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)
土壌中の移動性: データなし
オゾン層破壊物質: データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類: 非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法: 非該当
労働安全衛生法: 非該当
化学物質管理促進(PRTR)法: 非該当
消防法: 非該当
化審法: 非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PGE2 high sensitivity ELISA kit
製品番号 : ADI-930-001 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : ①Goat anti-Mouse IgG Microtiter Plate
②Wash Buffer Concentrate
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

注意書き

安全対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

廃棄

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 : 混合物

成分 : 抗体(①) 非公開(②)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を水とせっけんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

- 周辺設備に適した消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤
 - データなし
- 消火を行う者の保護
 - 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - 適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項
 - 下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 注意事項
 - 落下させないこと。衝撃を与えないこと。(①)
 - 安全取扱注意事項
 - 取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。
- 保管
 - 安全な保管条件
 - 4°Cで保存すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度：データなし
- 許容濃度：データなし
- ばく露防止
 - 設備対策
 - 洗眼設備・安全シャワーを設けること。
 - 保護具
 - 手の保護具
 - 保護手袋を着用する。
 - 眼の保護具
 - 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 - 皮膚及び身体の保護具
 - 保護衣を着用する。
 - 衛生対策
 - 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状：液体(②)
- 色：データなし
- 臭い：データなし
- pH：データなし
- 初留点/沸点：データなし
- 沸騰範囲：データなし
- 融点/凝固点：データなし
- 分解温度：データなし
- 引火点：データなし
- 自然発火温度：データなし

蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重/密度：データなし
水に対する溶解度：データなし
n-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常取り扱い条件において安定である。

避けるべき条件

直射日光、熱

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

通常の保管および使用条件では有害な生成物は発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果：データなし

感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性・水生毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層破壊物質：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。